



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「祈りの意味」①

祈りの世界ほど深遠で高邁なものはない。この祈りが世界を動かし、人々の心を神に向けさせ、神の栄光を表わしてきた。そしてその奥深さのゆえに、人間はその祈りの意味を生涯を通して求めてゆくのではないかと思っている。

さて、クリスチャンの間で次ぎのような会話がよく聞かえて来る。病気で病んでいる友のために祈った祈りが聞かれた時に、「私が祈ったから治ったのよ」とか、「あの人に祈ってもらったから癒されたのよ」とか、あるいは「私たちの教会は毎日、5時から早天祈禱会をしているから、6時にしている他の教会よりも祝福が大きいよ」とか。でも、それだと肝心の神のみ業がどこかに行ってしまうことになる。もし、人間の努力で人が癒されたり、奇跡が起こったならば、神は道具でしかないし、祈りは人間の努力の結果となり、神の栄光を人間が奪ってしまうことになる。一方、祈りは聞かれる時もあり、そうでない時もある。主イエスにしても、ご自分が十字架で殺されることをよしとはしなかったし、使徒パウロは、どんなに祈っても肉体の痛みは取り去られなかった。モーセも約束の地カナンに入りたいと祈っても、それは聞かれなかった。実に神はみ心のままに癒し、み心のままにみもとに召されるお方なのである。

それでは一体、祈りの効用とは何なのである。パウロは、「いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい」(エテサロニケ五・16、17)と言う。確かに神は私たちに絶えず祈ることを命じている。だが、それは換言すれば、神が私たちの祈りを必要としておられるという意味でもある。確かに、神はご自身の意思一つで何事でも押し進めることが出来る神である。かつてソドムとゴモラを滅ぼす時に、「わたしのしよととする事をアブラハムに隠してよいであらうか」(創世記十八・17)と言われたように、神は裁きの前にアブラハムにご自身の思いを吐露している。それは彼が神ご自身の友であったからだ(ヤコブ二・23)。そのように神は私たちと親しく語りたいたのである。絶えず応答して欲しいのだ。ご自身の働きに参与して欲しいのだ。それによって神の栄光がどれほど素晴らしいのかを知って欲しいのだ。私たちクリスチャンも神の友(ヨハネ十五・14)である。否、単なる友の関係を構築して下さったのである。その愛された私たちが応答する手段は祈りである。その祈りを通して熱く私たちが応答するなら、これほど神にとって嬉しいことはないか(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使途信条を、私達の信仰告白といたします。

